



とっぱずれ



銚子東ロータリークラブ Weekly Bulletin NO. 2307・2308



国宝 迎賓館赤坂離宮

第2307回 例会 令和元年 11月 10日

第2308回 例会 令和元年 11月 19日

点 鐘 … 宮内 勝利 会長
ロータリーソング … それでこそロータリー
来訪ロータリアン紹介

… 親睦活動・家族委員会

会 長 挨拶 … 宮内 勝利 会長
御 祝 披 露 … 宮内 勝利 会長
誕 生 祝 … 中川 進 会員(11月 13日)
長谷川 弘 会員(11月 14日)
結婚記念日 … 宮内 勝利 会員(11月 12日)
菅谷 弘吉 会員(11月 15日)
入会記念日 … なし

幹 事 報 告 … 杉浦 武 幹事

ニコニコBOX … 親睦活動・家族委員会

卓 話

「ロータリー財団への寄付」

地区R財団 財団資金・推進管理委員会
委員長 浅野 肇 氏

出 席 報 告 … 出席・プログラム委員会

来週のプログラム (令和元年 11月 26日)

卓 話

「ロータリー財団DVD鑑賞」

R財団委員会 中川 進 委員長

お食事「たけみ」

ROTARY CONNECTS THE WORLDロー



ターリーは世界をつなぐ

2019-2020 年度 R I 会長 マーク・ダニエル・マローニー



四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1) 真実かどうか
- 2) みんなに公平か
- 3) 好意と友情を深めるか
- 4) みんなのためになるかどうか

第 2306 回例会(令和元年 11 月 5 日)

会長挨拶

石毛 園子 副会長

皆さん、今日は。本日は宮内会長欠席の為、代理をさせて頂きます。

本日卓話をお願い致します米山奨学生の付靖秋様、地区米山記念奨学委員会 副委員長 生形健一様、ようこそおいで下さいました。付様には宜しくお願い致します。

ここで皆様にお願いがございます。地区より地区委員のご推薦が来ております。是非、我こそと思う方がございましたら立候補の方お願い致します。

幹事報告

1・ガバナー事務所より

- ・「クラブと会員のロータリーに関する意識調査」アンケート(日本のロータリー100周年実行委員会より)
- ・米山奨学生卓話募集のお願い
- ・バギオだより第75号の送付
- ・11月ロータリーレートのお知らせ 1\$=108円
- ・ロータリー財団月間|リソースのご案内 受領

2・ガバナーエレクト事務所より

2020-21年度創立記念の調査依頼 受領

3・銚子市国際交流協会より

チャリティイングリッシュレッスンのお知らせ 受領

4・例会変更のお知らせ

八日市場RCより

11/5(火)→11/1(金) 点鐘12:30「黄鶴」
ガバナー公式訪問の為

11/26(火)→11/10(日) 点鐘14:00

「銚子商工会議所」R情報研修会の振替の為 受領
佐原香取RCより

11/11(月)→11/9(日) R情報研修会の振替 受領
☆会報受領 鹿島臨海RC 銚子RC

卓話

「米山奨学生卓話」

地区米山記念奨学副委員長 生形 健一 氏

皆様こんにちは。只今ご紹介をいただきました今年度米山記念奨学委員を仰せつかっております八街 RC の生形と申します。どうぞよろしくお願ひ致します。

銚子東 RC の皆様には、日頃から米山奨学生事業への活動にご理解とご協力を頂きまして、心から感謝を申し上げ

ます。又、本日は、米山奨学生のフ・セイシュウ君を卓話にお招き頂きまして、重ねて御礼申し上げます。

ここで、彼のプロフィールを簡単

にご紹介いたしますと、まず、国籍は中国です。大学は、千葉大学で専攻はマーケティングサイエンス実証研究です。世話クラブは君津 RC です。この後彼の卓話でもその辺りの細かいことはお話ししたいと思います。

さて、ここでフ・セイシュウ君の卓話の前に、米山奨学生卓話訪問の意義について少しお話させていただきます。

銚子東 RC さんにも何回か世話クラブの経験がおありになるのでご存じかと思いますが、この米山奨学生事業は、金銭的な援助だけではなく、独自の世話クラブ制度やカウンセラー制度及び9月と翌年の2月の年度2回の奨学生レポートによりまして、奨学生、ロータリアン、R米山奨学生が相互理解を深めるという、ロータリーならではの「目に見える国際奉仕活動」でございます。

世話クラブ経験があるクラブは現在、全国 2246 クラブ中、約 86%の 1947 クラブが世話クラブの経験があります。又、当 2790 地区を見ますと、863 クラブ中、95.2%の 79 クラブが過去に世話クラブの経験があります。

過去の累計を見ますと比較的高い水準の様に思いますが、最近の傾向では、どうしても大学が都市部に近い方に集中しておりますので、遠方のクラブでは、未だかつて世話クラブ経験が無く、その殆どは、学生の顔をみることも出来ないまま、ひたすら寄付に励んでこの事業を支えていただいているクラブがあるのが現状であります。本年度は、83 クラブ中、26 名の米山奨学生ですから、世話クラブは約 31%になります。

世話クラブは、世話できないクラブに代わって奨学生の世話をするという、大変思い責任を担っていただいているわけでありまして、又同時に物心両面でも大きな負担と犠牲を払っていただいております。

このように、全く米山奨学生の顔も見ずに、声も聴かないのでは、どうしても米山に対する親しみが湧かない、そして、支援してくれと言われても、もう一つ気乗りがしないといわれるクラブも実際がございます。

このようなロータリアンの気持ちに伝えようと言うのが、米山月間を中心とする米山奨学性の卓話訪問であります。地区委員は、その辺のところ目的趣旨を奨学生にはしっかりと伝えて、今後とも周知に努めてまいります。

米山奨学生のスピーチのテーマは、各奨学生に任せていますが、彼らは学業の時間を割いて一生懸命に考えて、日本語でお話しを致します。

時に、時に、文化の違いを感じさせる内容もございますが、それもそうご理解の大切なファクターとなりますの



で、ご理解をいただきたいと思います

本日はロータリアンの皆様を前にして、大変緊張していると思いますが、ぜひ温かい目で見守って頂けると幸いです。

本日は、どうぞよろしくお願い致します。

「私のキセキとキズナ」

米山奨学生 付 靖秋 氏

銚子東ロータリークラブの皆さん、こんにちは！わたくしは君津ロータリークラブでお世話になっている付靖秋と申します。苗字は付です。普段は「ふっくん」と呼んでいただければ嬉しいと思います。現在は千葉大学大学院に所属し、公共社会科学専攻の修士2年生で、来年3月に卒業する予定です。



早速ですが、まずは私の出身について紹介します。

私は中国の東方部、北朝鮮のとなりにある吉林省長春市の生まれ育ちです。長春市は中国のデトロイトと呼ばれ、自動車産業の町です。また、冬が長いのは特徴です。およそ半年間は冬で、寒い環境に恵まれていることで、冬場の氷灯は有名です。氷灯とは、氷を彫刻したり、積み上げたりして、城や楼閣を作って、氷の中にフルカラーの電球を入れて、ライトアップしたものです。また、歴史的には日本と関わりが多くて、満洲国の首都として建物群がたくさん残っています。今でも、漢民族、地元満州族、朝鮮族が融合されて、多様な文化は味わえるところです。

私は一人っ子で、ひとり親家庭です。小学生の時、両親が離婚されて、母が私を育ててくれました。母は物流会社に勤めています。大学の時に、母は再婚して、新しい家族を作り、小学生の妹がいます。

続いて、なぜ日本に留学しに参りました理由について説明します。

簡潔にまとめると、それは「日本という観光大国をもっと知りたい、自分の見聞を広げたい」からです。日本留学は高校時代からの憧れでした。アニメやマンガがきっかけとして、日本の風景、四季の風物詩に夢中になっていました。例えば、アニメに登場されたお祭りや初詣という行事イベントに興味を持って、異文化を体験したいと思っていました。一方で、言葉は文化と切り離せない存在だと言われているように、私はより一層に日本文化を理解したいと思い、高校の時から日本語の独学をはじめ、中国の大学に進学した際に、迷わずに観光産業向けの日本語専攻を選び、日本語を学び続けていました。学部では、千葉県館山出身の日本人教師と出会いました。その先生の授業で、「チーバくん」の千葉県の観光地をはじめ、よく日本各地の旅行に思いをはせました。私はア

ルバイトで旅費を稼ぎ、5年前の夏休みに人生初の海外旅行、日本に参りました。それは新鮮な驚きに溢れた短期滞在でしたが、とても楽しい体験でした。帰国の飛行機を搭乗した際に、「もっと語学力と日本文化の理解を向上し、たくさんの地域に訪問して、より多くの日本の方々と交流したい」という物足りない気持ちは、留学の原動力だと追憶しています。帰国後、直ぐに語学資格を取得して、大学のダブルディグリー制度を活用して、学部3年生の時に滋賀県にある大学に留学しに参りました。学部時代の滞在時間を活用して、日本半分以上の都道府県を旅行してきました。そして、日本の大学を卒業してから、今の千葉大学大学院に進学してきました。

以上のことで、私は日本留学という憧れを実現しました。日本に来る前のイメージと来てからのイメージで違うことについて、一番印象に残ったのは「伝統と革新の共存」です。日本は先端技術や経済発展の国で、どこでも東京のように高層ビル群の現代アートが多いと思いました。しかし、日本で生活しているから、神社、お寺、お祭りや年中行事がたくさんあることがわかりました。特に、伝統的な行事は、今でも守っています。中国では、例えば、正月の時に初詣等の伝統習慣がありましたが、今はだんだん失っているのは現状で、日本のように伝統と革新が共存できないと思います。一方で日本に来て、イメージ通りに、印象深いのは、やはり「人に迷惑をかけてはいけない」ことです。電車の中で電話をかけないことや、自然に行列を並ぶこと等、日本ならではの文化でしょう。最初の時は、納得できないところですが、「郷に入っては郷に従え」、今はその文化を理解し、受け入れました。

説明を遅れましたが、次に私の研究について紹介します。

私が取り込んでいる研究分野はマーケティングサイエンス、マーケティングリサーチです。簡単に説明すると、顧客管理や購買行動のデータを分析し、施策効果の予測やビジネス企画、経営戦略の意思決定にサポートする実務的な分野です。研究内容は、訪日外国人旅行者を対象に、旅行者の人口属性を考慮した上で、効果的な広告宣伝方法を評価・提案することです。それによって、企業・自治体側にとって、広告費のコストダウンや観光まちづくりに貢献したいと思います。一方で、訪日外国人旅行者にとって、一人ひとりのニーズや属性に応じて、必要な情報を的確に手に入れることの実現に寄与したいと思います。

私の夢は、日本の魅力的な観光資源を世界に繋げて、地域観光まちづくり・日本と世界の相互理解の促進に貢献したいと思います。しかし、たくさんの地域に訪問しました私は、地域の人口過疎化、高齢化によって、人手不足という問題を痛感しました。実際に、学部の卒業研究のために、教授先生と一緒に岐阜県飛騨市と栃木県さぬがわに訪問したことがあります。町の施設は全体的に老朽化し、衰退しているように見えました。町の商工観光課の方の話によると、観光まちづくりに取り組んでい

る一方で、その具体策や人手不足で対応しきれないのは現状だと伺いました。更に近年にその地域に来る訪日外国人観光客が増加し、インバウンドの受け入れも大きな課題になっています。町の人が少なくなることで、観光産業を含める地域産業は成り立たないと思います。それに対して、私の研究の延長線として、旅行者の嗜好が多様化していることで、あらゆる場面で蓄積されたビッグデータを利活用して、一人ひとりのニーズや属性に応じるマーケティング施策が必要になっています。そこで、私はそういう日本観光に関する課題をより実務的に解決したいと思い、最先端技術を駆使している日本の大手IT企業への就職を決めました。日本大手IT企業で、ビッグデータ解析やデジタル化の推進を仕事として、日本の地域の人手不足の解消や、訪日外国人観光客の受け入れ環境の充実を向上させたいと考えております。

続いて、ロータリーとの関わりについてお話させていただきます。私は同じ中国の大学の奨学生の先輩からロータリークラブという組織を初めて知っていました。先輩はよくSNSでロータリアンたちと一緒に奉仕活動に参加し、活動の写真を共有してもらっていましたことを通じて、ロータリーは国と国、人と人との相互理解を促進するというイメージを受けて、私が奨学生選考を応募させて頂きました。

そして、特に米山奨学生になってから、肌感覚でロータリーに対する理解を深めてきました。例えば、お世話クラブの君津ロータリークラブの例会において、ロータリアンたちから暖かい歓迎の言葉、カウンセラーの廣田さんの駅までの出迎えや私の就職活動中で「まだまだこれから！」という応援のメッセージ、初めて鈴木さんの手と手に繋げた際に、「手は冷たいけれども、心は暖かい」と言いながらの微笑み、一緒に君津駅前の花植え等の奉仕活動の参加。そういういろいろなことを通じて、ロータリーは異業種交流の職業奉仕から、社会奉仕、国際奉仕まで、「人に思いやりを持つこと」、「助け合い」、「お互いに理解してもらうこと」を、私とも非常に共感していると思います。

ロータリーの米山奨学生になってから、あっという間に半年が経ちました。実生活で変わったことは主に2点あります。1点目は、より多く、様々な人と交流できました。国籍の違う奨学生同士やカウンセラーをはじめ、異業種のロータリアンたち、米山学友会の先輩たちまで、幅広いネットワークを作ることができて、交流の場で知らなかったことを相互理解しています。ロータリーの活動を通じて、絆を深めて、今まで異国に一人で生活している私にとっては、それがファミリーのような存在だと考えています。2点目は、ロータリーでの活動を通じて、母国と日本の架け橋になっていくことです。千葉市親子三代祭りで御神輿を担ぐことを体験し、日本伝統文化をより近い距離で、理解を深めてきました。日本の魅力や感覚をSNSで家族や友人に発信し、日本により良いイメ

ージをもたらすように努力しています。一方で、インターアクト年次大会に参加させていただくことで、千葉県の高校生と初めて母国のことを紹介し、日中友好を次世代に伝えることができました。

また、たくさんの活動に参加させていただきました。一番びっくりしたことは、ロータリアンたちは自分の本業があるにもかかわらず、時間を取り、地域・社会奉仕活動に熱心に取り組んでいることです。

中国のことわざですが、「水を飲むときに、その井戸を掘ってくれた人の恩は忘れてはならない」、皆さんの支援を受けている私は、その奉仕の気持ちを忘れてはならないです。私は、そういう奉仕の気持ちで地域創生に支え、平和・友好の架け橋として社会に貢献したいと考えています。奨学期間後にも、ロータリアンたちの繋がりを維持しながら、キズナを深めて、共に「奉仕の輪」を広げ、国際親善・世界平和に少しでも力になりたいと思います。

最後に、ロータリアンたちのご支援を受けることで、研究・就職活動に専念することができ、第一志望の日本企業から内定をいただきました。また、ご支援を活用し、日本のたくさんの場所を訪ねることもでき、地域とのコミュニケーションや異文化の相互理解を促進しています。私は皆さんのご支援を心より、お礼申し上げたいと思います。

私の卓話は以上になります。ご清聴ありがとうございました。

前回の例会(11/5)報告

点 鐘 石毛 園子 副会長

出席報告

会員総数	32名	出席規定除外数	5名
出席者	15名	出席率	53.57%
10月15日		確定出席率	100%

来訪ロータリアン

生形健一氏 (八街RC)

欠席者 13名

メイクアップ なし

スモールコインBOX

小計 ¥ 1,500-

累計 ¥ 22,160-

ニコニコBOX

累計 ¥ 61,000-

第 2307 回例会(令和元年 11 月 10 日)

R 情報研修会 点鐘 14:00 「銚子商工会議所」



❖ テーブルディスカッション

第1部「ロータリーのここが好き」

第2部「ロータリーのここが嫌い」

Aテーブル



点 鐘
石井ガバナー補佐



Bテーブル



開会挨拶
杉浦幹事

歓迎の言葉
宮内会長



Cテーブル





Dテーブル



❖ 発表

A

八日市場RC
小川会長



B

銚子RC
宮内会長



C

旭RC
井田会長



D

銚子東RC
杉浦幹事



前回の例会(11/10)報告

点 鐘 宮内 勝利 会長

出席報告

会員総数	32 名	出席規定除外数	5 名
出席者	32 名	出席率	100 %
10月29日		確定出席率	62.07 %

来訪ロータリアン

大岩将道君 (11/12銚子RC)

欠席者 なし

メイクアップ なし

スモールコイン BOX	<u>累計 ¥ 22,160-</u>
ニコニコBOX	<u>累計 ¥ 61,000-</u>

銚子東ロータリークラブ

銚子市三軒町19番地の4 銚子商工会館4階 TEL0479(23)0750 FAX0479(25)8789

メール c-higashirc@tcs-net.ne.jp URL <http://www.tcs-net.ne.jp/~rc>

例会日時及会場 毎週火曜日 12時30分点鐘 銚子商工会館5階大会議室

会長 宮内勝利 副会長 石毛園子 幹事 杉浦 武

クラブ広報・会報委員会 杉山正躬・藤崎一成・杉浦 武

表紙題字 網中喜一郎初代会長

R. I 第2790地区

ほととぎす 銚子は国の とっぱずれ

古 帳 庵

江戸小網町の豪商鈴木金兵衛夫婦(古帳庵 古帳女)が銚子に遊んだときに

詠んだもので、この碑は圓福(円福)寺に現存する。